

ち”を救う!?

ユニティづくりのためにー

で盛んにおこなわれています。それらが都市および地域の再生や
す。今回は、コーディネーターに熊倉純子さんを迎え、「アート」
ちづくりへの可能性について探っていこうと思います。

〈まちづくり講演会〉参加費無料 定員 100 名 (多数の場合は抽選)
※申込は裏面参照

開催場所 : 名古屋都市センター 11 階ホール

各地で「まち」を動かそうとしている人がいます。立場や方法は様々ですが、その人たちに共通
するキーワードは「アート」。活躍中の皆さんから話を伺い、これからを考えたいと思います。

2月27日(水) 18:15~20:15 「アートが“まち”を救う! ? -地域の活性と新たなコミュニティづくりのために-

池田修 「クリエイティブシティ構想の実現を目指してー横浜ー」

永田宏和 「デザインがまちを動かすー神戸ー」

山出淳也 「中心市街地に息吹をー別府ー」

熊倉純子 (コーディネーター)

池田修 BankART1929 代表 / PHスタジオ 代表



1957 年大阪生まれ。1984 年、都市に棲むことをテーマに美術と建築を横断するチーム PH スタジオを発足。展覧会や美術プロジェクト、建築設計等、多岐にわたる活動を行っている。代表作は広島島のダム湖に沈む町でのプロジェクト「船、山にのぼる」。また、代官山ヒルサイドギャラリーディレクター (1986~1991) など、コーディネーターとしての実践も長い。2004 年から BankART の立ち上げと企画運営に携わり、今日に至る。1994 年から名古屋芸術大学 (院) 非常勤講師の他、他大学での講演も多い。2009 年度、芸術選奨文部科学大臣新人賞、2011 年度、横浜文化賞文化奨励賞受賞。

永田宏和 デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長
NPO 法人プラス・アーツ 理事長



1993 年大阪大学大学院修了。2001 年、まちづくり、アート、建築、の 3 つの分野の企画、プロデュース会社「iop 都市文化創造研究所」設立。2006 年 NPO 法人プラス・アーツ設立、理事長に就任。全国各地及び海外での防災教育普及に取り組む。2012 年 8 月デザイン・クリエイティブセンター神戸「KIITO」の副センター長に就任。主な企画・プロデュースの仕事に、楽しみながら学ぶ新しい形の防災訓練プログラム「イザ! カエルキャラバン!」(2005 年~)、防災とクリエイティブティをテーマにした展覧会「地震 EXPO」(2006 年)、無印良品の防災啓発キャンペーン「地震 ITSUMO+無印良品」(2008~)、「水都大阪 2009・水辺の文化座」、KOBE デザインの日記念イベント 2010「神戸+デザイン」(2010) などがある。『第 6 回 21 世紀のまちづくり賞・社会活動賞』受賞。

山出淳也 NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事 / アーティスト



1970 年大分生まれ。PS1 インターナショナルスタジオプログラム参加 (2000~01)。文化庁在外研修員としてパリに滞在 (2002~04)。主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北市立美術館 (2000~01)、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館 (2000~01)、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリ (2002) など多数。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開催を目指して、2005 年に BEPPU PROJECT を立ち上げ現在にいたる。平成 20 年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞 (芸術振興部門) 別府現代芸術フェスティバル 2009 「混浴温泉世界」総合プロデューサー (2009、2012)

